



1986-1992

# 終わり良ければすべてよし 僕達は弱くなかった!!



対、神戸弘陵戦での勝利。

## 桶狭間に勝った

— 祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり —

初の公式戦で神戸弘陵に惨敗を喫し、翌年には神戸市リーグ3部にまで転落してしまった時、私はまさに『盛者必衰の理』を実感し、この様につぶやいた。今考えれば、過去の先輩方の輝かしい戦績と較べれば、あの頃の私達は大変不甲斐ないチームであっただろう。

しかし、佃先生の熱心な御指導、頼もしい後輩の加入、そしてなによりも久保の威厳あるキャプテンシー（決し

てお世辞ではない）のお蔭で、FWの私から見ると大変信頼のおける守りの堅いチームとなり最後の公式戦である総体に臨むに至った。私は1回戦の聞いたこともないような学校との試合から最後の試合かもしれないので家族をよんだが、いらぬ心配であった。私達はあれよあれよと準々決勝にまで進み、あの宿敵弘陵との再戦を迎えた。雨降る中、都倉の好守、敵のミスのお蔭で私達は1-0で勝ってしまったのだった。戦国の昔、寡兵をもって、雨中今川義元の首を挙げた織田信長の桶狭間合戦そのものの試合であった。準決勝で滝川第二に負けてしまい、県4位だったが、最後の最後で返しがか

き、六甲の輝かしい伝統に面目が立ったので、思い出深い大会となった。

いつまでも六甲が強く、いつか六甲出身のJリーグの選手が出ればと望みます。

[渡辺 三郎]

サッカー  
ベスト8

▽6回戦 神戸弘陵 1-0 六甲  
▽7回戦 六甲 1-0 三木  
▽8回戦 三木 0-1 六甲  
▽9回戦 六甲 1-0 三木  
▽10回戦 三木 0-1 六甲  
▽11回戦 六甲 1-0 三木  
▽12回戦 三木 0-1 六甲  
▽13回戦 六甲 1-0 三木  
▽14回戦 三木 0-1 六甲  
▽15回戦 六甲 1-0 三木  
▽16回戦 三木 0-1 六甲  
▽17回戦 六甲 1-0 三木  
▽18回戦 三木 0-1 六甲  
▽19回戦 六甲 1-0 三木  
▽20回戦 三木 0-1 六甲

六甲7年ぶり8強へ  
○：サッカーの六甲が延  
びた。Pのみの来、六甲は平  
七年ぶりのベスト8進出を  
果たした。前年10分、島根ペナリティ  
エリア内のクリアミスから  
六甲は、音に押し込まれ1  
点差だったが、後半になっ  
てかえり、ゴールキーパー  
六甲選手1人を倒した。後  
半は、ハンドの反動からP

▽5回戦 神戸弘陵 1-0 六甲  
▽6回戦 六甲 1-0 三木  
▽7回戦 三木 0-1 六甲  
▽8回戦 六甲 1-0 三木  
▽9回戦 三木 0-1 六甲  
▽10回戦 六甲 1-0 三木  
▽11回戦 三木 0-1 六甲  
▽12回戦 六甲 1-0 三木  
▽13回戦 三木 0-1 六甲  
▽14回戦 六甲 1-0 三木  
▽15回戦 三木 0-1 六甲  
▽16回戦 六甲 1-0 三木  
▽17回戦 三木 0-1 六甲  
▽18回戦 六甲 1-0 三木  
▽19回戦 三木 0-1 六甲  
▽20回戦 六甲 1-0 三木

▽5回戦 神戸弘陵 1-0 六甲  
▽6回戦 六甲 1-0 三木  
▽7回戦 三木 0-1 六甲  
▽8回戦 六甲 1-0 三木  
▽9回戦 三木 0-1 六甲  
▽10回戦 六甲 1-0 三木  
▽11回戦 三木 0-1 六甲  
▽12回戦 六甲 1-0 三木  
▽13回戦 三木 0-1 六甲  
▽14回戦 六甲 1-0 三木  
▽15回戦 三木 0-1 六甲  
▽16回戦 六甲 1-0 三木  
▽17回戦 三木 0-1 六甲  
▽18回戦 六甲 1-0 三木  
▽19回戦 三木 0-1 六甲  
▽20回戦 六甲 1-0 三木

▽5回戦 神戸弘陵 1-0 六甲  
▽6回戦 六甲 1-0 三木  
▽7回戦 三木 0-1 六甲  
▽8回戦 六甲 1-0 三木  
▽9回戦 三木 0-1 六甲  
▽10回戦 六甲 1-0 三木  
▽11回戦 三木 0-1 六甲  
▽12回戦 六甲 1-0 三木  
▽13回戦 三木 0-1 六甲  
▽14回戦 六甲 1-0 三木  
▽15回戦 三木 0-1 六甲  
▽16回戦 六甲 1-0 三木  
▽17回戦 三木 0-1 六甲  
▽18回戦 六甲 1-0 三木  
▽19回戦 三木 0-1 六甲  
▽20回戦 六甲 1-0 三木

○長町 とてもシャイな彼は敵FWを空手でぶちのめすという、なかなか豪快(強引)なサッカーをする。怒られた日は夜中に柔軟体操をやって鬱憤を晴らした彼の愛称は「まちこ」。

○新保 天然ボケでいつも新鮮な笑いを提供してくれた彼。ウイングを任された彼の得意技は、持ち前の足腰の「バネ」を生かした変則ドリブルと忘れた頃に繰り返される弾丸シュート。

○天谷 個人技がうまい。中学時代に中盤から5人抜きをやってのけ、GKをかわして無人のゴールにシュートしたまでは良かったが、それが見事に外れるというおまけ付きの伝統まである。得意技は、バックヘッドにオーバーヘッド、そしてとどめが「天谷スペシャル」。

○小林毅 彼を「むーみん」と最初に呼んだのは天谷だったが、可哀想に、今じゃ誰からも「むーみん」と呼ばれている。しかし外見にだまされてはいけない。本当は超一流のDFなのである。

○田口 いつも明るくひょうきんで、よくチームに溶け込んでいた人でもある。チームワーク重視の49期のサッカーでは欠かせない存在だった。自慢の武器は脚力。とにかく速い速い。

○泉家 「うおー」「いえーい」と、大声でチームの士気を盛り上げてくれる彼の姿は、ハタ目から見ればひょっとすると非常に変に映っていたかも知れない。情熱的な選手であった。

○小林紀方 練習量は部内随一だった。左足の大怪我からの奇跡のカムバックも見ていて痛々しいぐらいだった必死のリハビリの成果なのだ。まさに努力努力の人である。そんな彼の愛称は「ばび」。

○岡本 プレーヤー兼マネージャーなのか、マネージャー兼プレーヤーなのか、どっちにしろ多忙で神経性胃炎になったのは事実だよ。ほんと。

○渡辺 サッカーを深く愛す男、不動のエースストライカーなべの背番号は10である。彼のシュートは凄い。重低音を唸らせて飛んできてとても重

い。チームの得点の3分の1は彼のもののなのだ。

○都倉 彼は県でも五指に入るスーパーGKだ。今となっては元物理部というのが信じられない。PK戦にも強く、試合中は彼の野次も含めて闘志満々である。普段は笑みを絶やさず穏やかだが、怒らすと自動販売機を素手で破壊するほど怖い。要注意。

○大野 彼はいつでもどこでも汗だくだ。反面彼はサッカー部一の綺麗好きで、彼の行く所必ず洗濯機がゴトゴトまわっている。プレー中は泥の中でも平然としていて、今日も大野の黄金の左足のキックが冴え渡るのだ。

○久保 49期DF陣を「守りの六甲」と言われるまでにまとめあげた我がキャプテン。県優秀選手にも選ばれたその正確な技術に、あえて難点を一つ言わせてもらおうと彼がオーバーラップした時は、点を入れられそうで恐かった。

[岡本 直]



好調の六甲  
神戸弘毅破る  
ベスト4決まる

サッカー

八甲(神戸弘毅) 0-0  
六甲(神戸弘毅) 0-0  
加川(神戸弘毅) 0-0  
加川(神戸弘毅) 0-0  
加川(神戸弘毅) 0-0  
加川(神戸弘毅) 0-0

サッカーは神戸弘毅がベスト4進出を決めた。

一戦に勝つことで、神戸弘毅は神戸弘毅の角・神戸弘毅に押され進出しながらも後半17分、コーナーキックから小林弘毅のシュートで得た一点差で、ベスト4進出を決めた。

切った、神戸弘毅は神戸弘毅がベスト4進出を決めた。

十八年ぶりにベスト4入りを果たした六甲は手強い守りを崩し、GKの好守で得た点こそ多く、西三郎選手も活躍して、神戸弘毅の守りも悪くない。神戸弘毅の守りも悪くない。神戸弘毅の守りも悪くない。